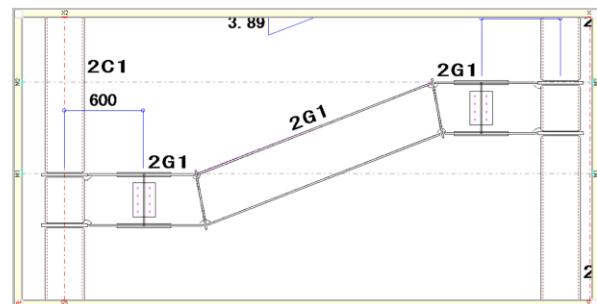


# 階段をまたぐ梁の入力したい！①

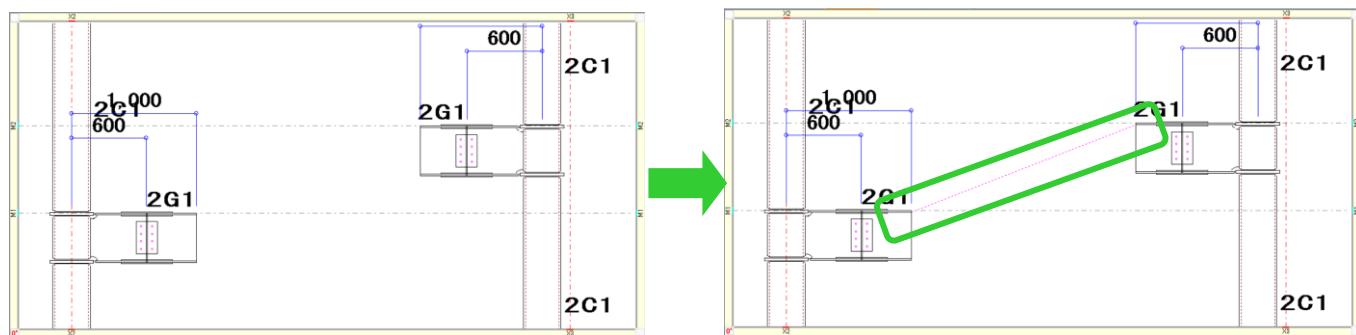
軸組図から補助線を使用して入力します。

例) 右図のように異なる階に入力された梁に接続する斜めの梁を入力し、合掌プレートで取り合う方法



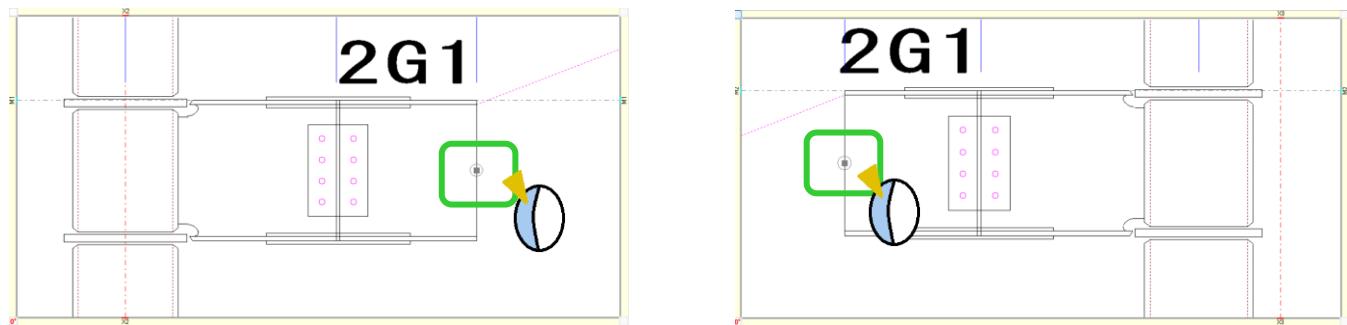
異なる階にそれぞれ梁を入力します。

斜め梁を配置したい位置に補助線を引きます。今回は斜め梁の上端に補助線を引きます。



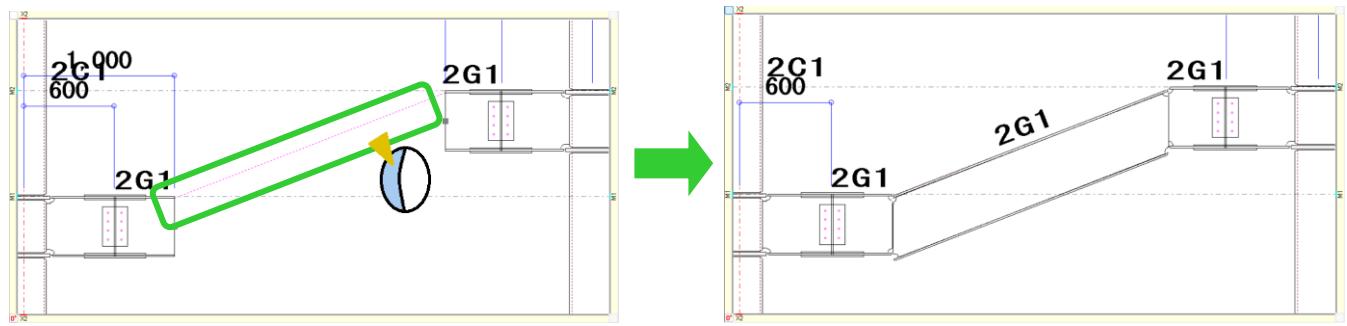
【梁】 - 【入力】をクリックします。[部材1指定/本柱一括選択]で、梁の端部の●をクリックします。

[部材2指定]で、反対側の梁の端部の●をクリックします。



梁端部に接続したい場合、部材選択時に梁ではなく梁端部の●をクリックします。

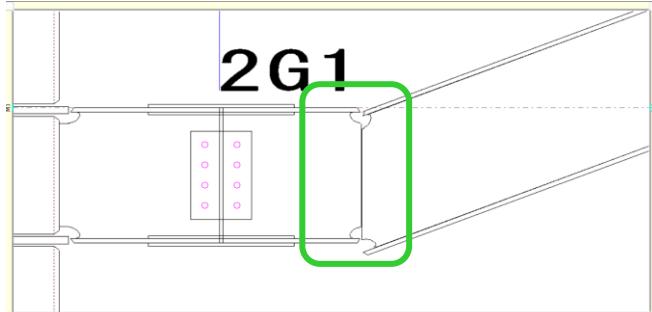
[基準指定]で斜めに引いた補助線をクリックし確定すると、斜めの梁が配置されます。



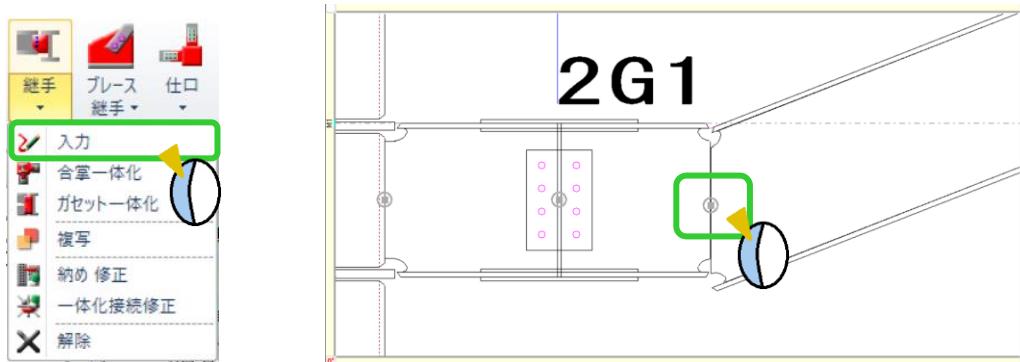
## 階段をまたぐ梁の入力をしたい！②

軸組図から補助線を使用して入力します。

異なる階に入力された梁と斜め梁の切断面に合掌プレートを配置し、切断面が合うように端部角度を調整します。



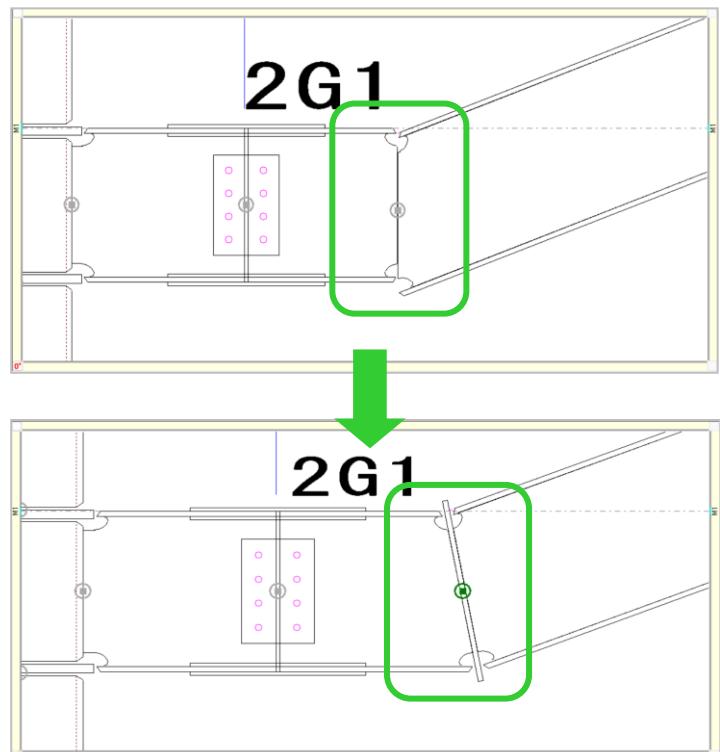
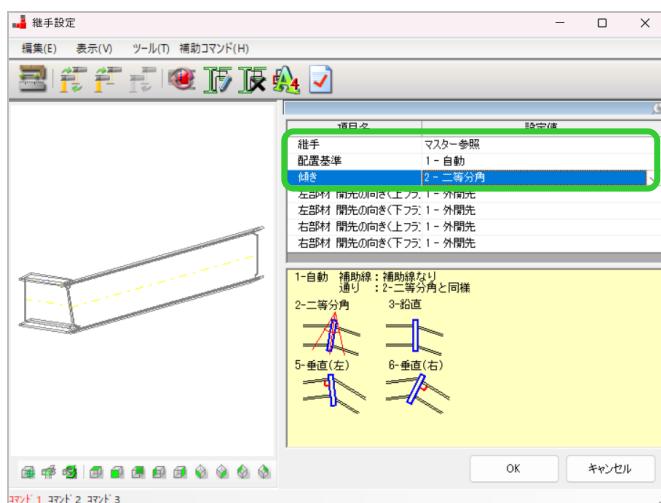
【継手】 - 【入力】をクリックし、片方の梁と斜め梁間にある端部の●をクリックします。



継手設定画面が起動します。【継手】には、継手マスターで登録した合掌プレートを選択します。

【傾き】 - 【2-二等分角】を選択し、OKをクリックすると梁断面の角度が調整されます。

同様に、もう片方の梁の切断面の【継手】と【傾き】を変更します。



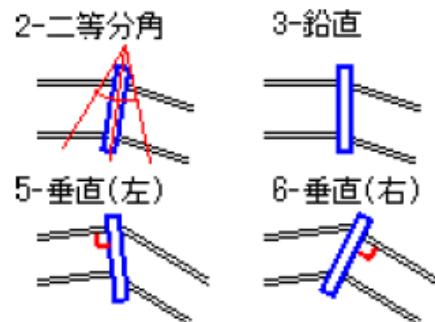
## 『?』 階をまたぐ梁の入力をしたい！③

軸組図から補助線を使用して入力します。



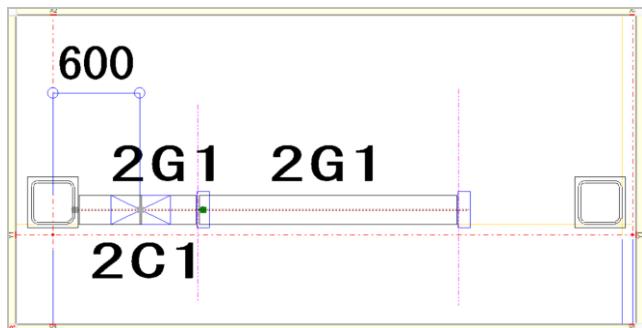
【継手】 - 【入力】で梁端部●をクリックした際に表示される  
【傾き】はスプライスの場合は無視されます。

【1-自動】は補助線を使用して接続にした場合、  
傾きは補助線なりになります。  
通りを使用して接続にした場合、傾きは【2-二等分角】と  
同様になります。

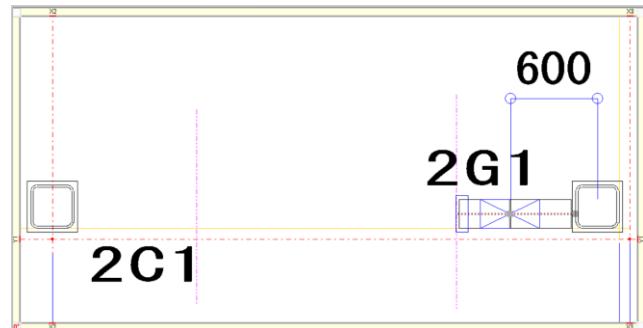


階またぎの梁は上下どちらかの階に作図されます。

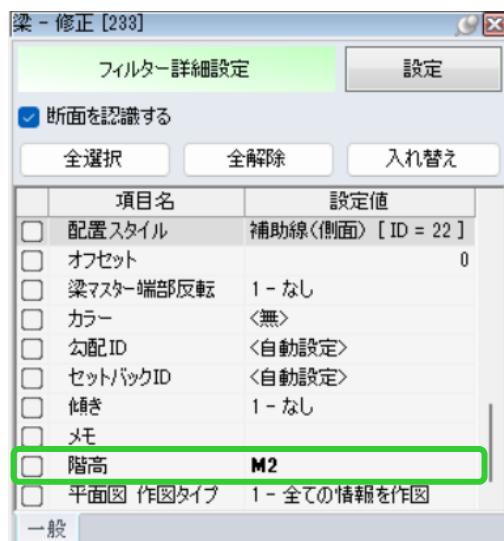
<M1 階 平面図>



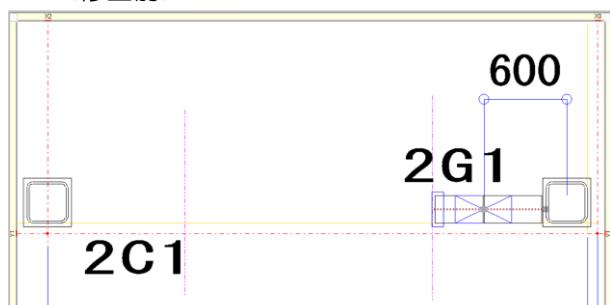
<M2 階 平面図>



階をまたいだ梁は上下どちらかの階に作図されますが、  
平面図での作図階を変更したい場合は、  
【梁】 - 【修正】で作図階の指定ができます。



<修正前>



<修正後>

